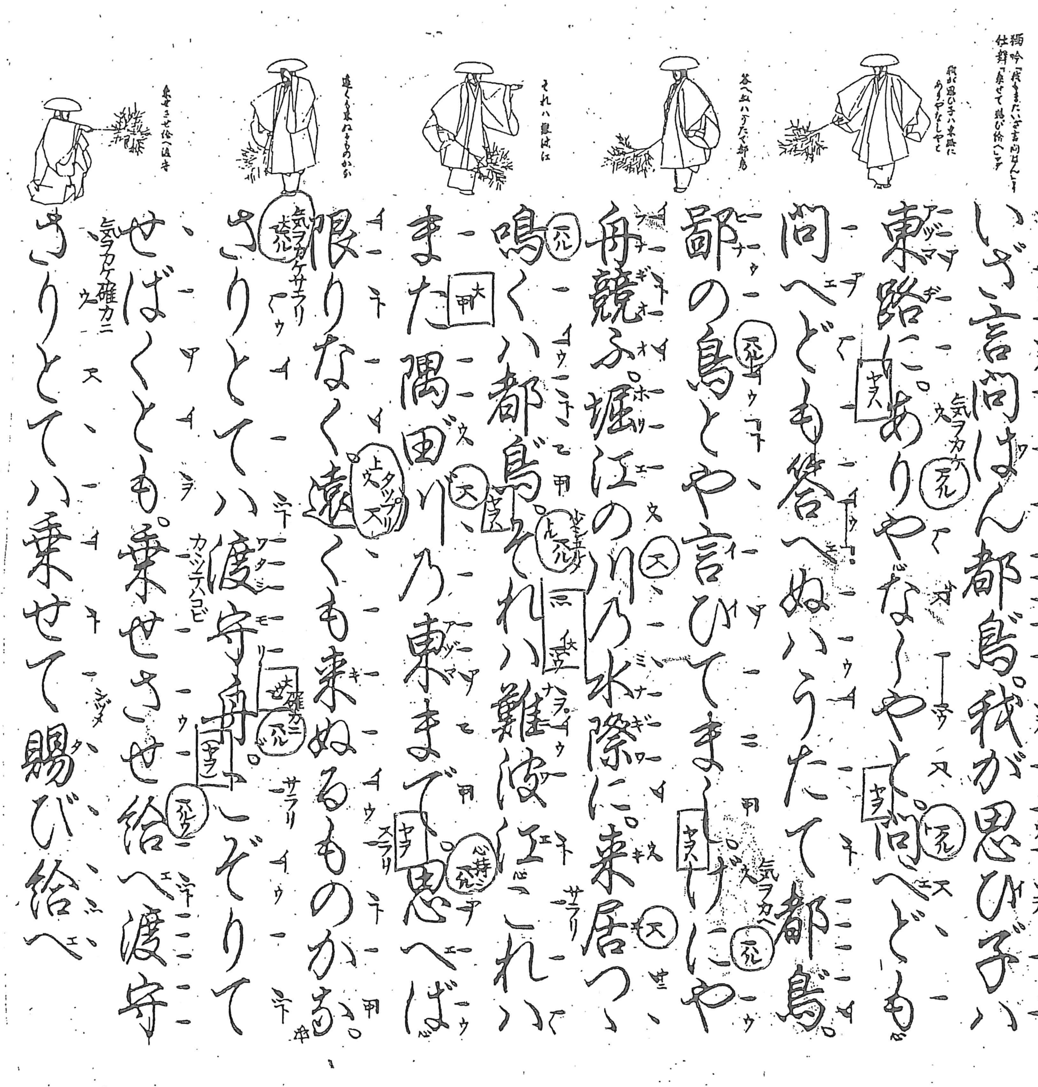
実践としての謡　音楽としてのおもしろさはどこにあるのか

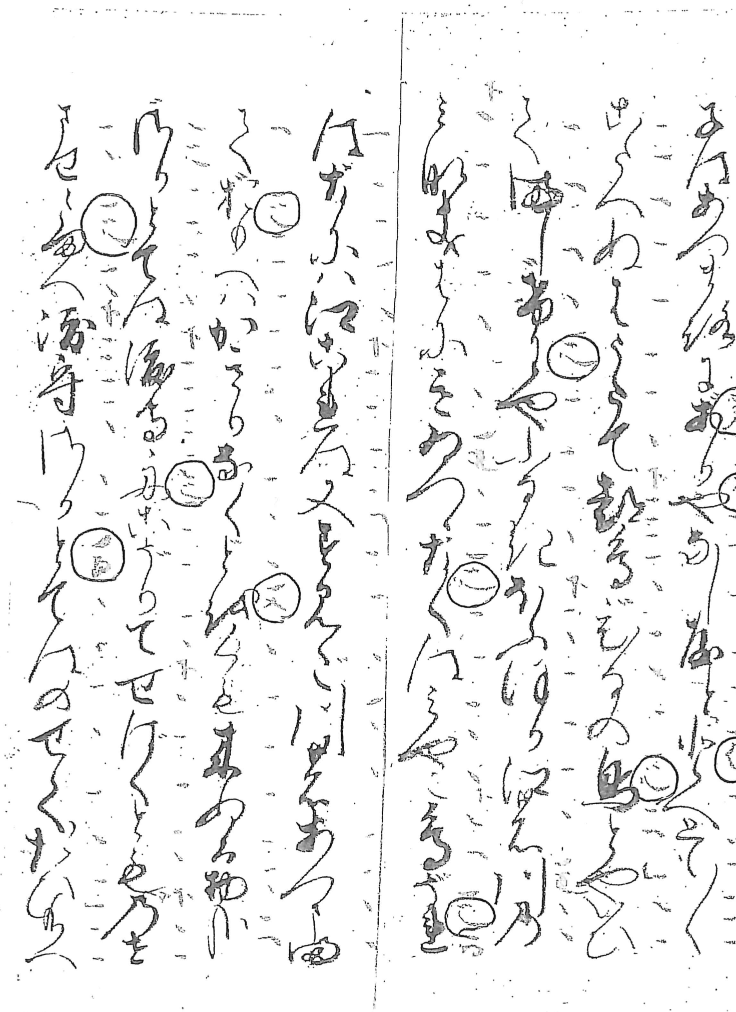
高桑　いづみ

Ⓐ



地 上歌 拍合 我もまたいざ言問はん都鳥。
いざ言問はん都鳥。我が思ひ子は
東路に。ありやなしやと問へども
問へども答へぬうたて都鳥。
鄙の鳥とや言ひてましげにや
舟競ふ堀江の川の水際に来居つゝ
鳴くは都鳥。それは難波江これは
また隅田川の東まで思へば
限りなく遠くも来ぬるものかな。
さりとては渡守舟。こぞりて
せばくとも乗せさせ給へ渡守
さりとては乗せて賜び給へ

Ⓑ



観世元久章句中本（八世）
（元盛→元久→元尚）
一五六八―七二

Ⓒ

地上 上歌 拍合 我もまたいざ言問はん都鳥。
いざ言問はん都鳥。我が思ひ子は
東路に。ありやなしやと問へども
問へども答へぬうたて都鳥。
鄙の鳥とや言ひてましげにや
舟競ふ堀江の川の水際に来居つゝ
鳴くは都鳥。それは難波江これは
また隅田川の東まで思へば
限りなく遠くも来ぬるものかな。
さりとては渡守舟。こぞりて
せばくとも乗せさせ給へ渡守

室町アクセントは坂本清恵氏による

◎

		1		2		3		4		5		6		7		8
ヤ		―	わ	れ	も	ま	た	。	（	ト	リ	）				
基準句	い	⋮	ざ	こ	と	⋮	問	わ	ん	⋮	み	や	こ	ど	り	。
	わ	⋮	が	お	も	⋮	い	子	わ	⋮	あ	ず	ま	路	に	｜
ヤヲハ	｜	｜	｜	｜	｜	。	あ	り	や	⋮	な	ア	し	や	｜	と
ヤヲ	オ	｜	エ	。	問	⋮	え	ど	も	⋮	問	え	ど	⋮	も	こ
	た	え	エ	ぬ	わ	⋮	う	た	て	⋮	み	や	こ	ど	り	。
	ひ	⋮	な	の	と	り	と	オ	や	⋮	言	い	て	ま	｜	し
	イ	｜	｜	｜	｜	。	げ	に	や	⋮	ふ	な	ぎ	お	お	。
	ほ	⋮	り	江	の	⋮	か	わ	の	⋮	み	な	ぎ	わ	に	。
	来	⋮	居	つ	つ	⋮	鳴	く	わ	⋮	み	や	こ	ど	オ	り
	イ	｜	｜	｜	｜	。	そ	れ	（	ト	リ	）				
	｜	わ	｜	み	な	⋮	が	わ	江	⋮	こ	れ	わ	⋮	ま	た
	｜	ア	す	み	だ	⋮	が	わ	の	⋮	あ	ず	ま	ま	ア	で
	エ	｜	お	。	お	⋮	も	え	ば	⋮	か	ぎ	り	な	く	。
	と	⋮	｜	く	も	⋮	来	ぬ	る	⋮	も	の	か	な	ア	｜
	。	さ	｜	ア	り	⋮	と	て	わ	｜	わ	た	し	も	り	ふ
	｜	ウ	ね	。	こ	⋮	ぞ	り	て	⋮	せ	ば	く	と	も	。
	乗	⋮	せ	さ	せ	⋮	た	ま	え	｜	わ	た	し	も	り	さ
	り	⋮	と	て	わ	⋮	乗	せ	て	⋮	た	び	た	ま	え	。

Ⓓ

音曲玉淵集

三浦久之庚妥（つぐやす） 享保十二（一七二七）年板行

三浦氏は「便用謡」の編集者でもある

一トルふしの事

胡 △よそのみる目も[illegible]

見る目も哀れさを何時か忘れん 外の

①松 △村雨も袖の　イロッ付てきる之

②胡 △後に[illegible]の

③れ △行平の中納言　中まさく之

④井 △こと[illegible]

⑤田 △[illegible]　色も中さけて

⑥う △[illegible]ハ引く

⑦チ △実や世の中ハ　上の音つひきまてさくる之

⑧せ △安[illegible]

⑨る △袖を[illegible]

⑩ △[illegible]

チ △せめをうつる

ゆ △こころよき

○此トル章[illegible]

せ △[illegible]

定 △てい[illegible]

田 △せたの長[illegible]

①
下歌 拍合
松風も村雨も 袖乃み濡れてよしなやな身に

②
雲絶えぐに行く空の青野が原乃露

③
行平の中納言三年ハ此処に須磨

④
心の水も底ひなくうつる

⑤
一声 後シテ サシ 拍不合
あらありがたの御經やな。清水寺乃瀧つ波。まこと一河の流れを

五

答へぬはうたて都鳥

さりとては乗せてたび給へ

独吟 □

シテ上 名にしおはば 地上 我もまたいざ言問ハん都鳥いざ言問ハん都鳥 我が思ひ子ハ東路にありやなしやと 問へども問へども答へぬハうたて都鳥 鄙の鳥とやいひてまし げにや舟競ふ堀江の川の水際に来居つつ鳴くハ都鳥 それハ難波江これハまた隅田川の東まで思へば限りなく 遠くも来ぬるものかな さりとてハ渡守 舟こぞりてせばくとも 乗せさせ給へ渡守 さりとてハ乗せてたび給へ かゝるやさし

明治三十六年（一九〇三）にイギリスのガイスバークが機材を持ち込んで録音
（梅若萬三郎と山本東次郎）
明治三十八年 アメリカコロンビアの技師を招聘して吹きこみ
（観世清廉・宝生九郎・喜多六平太・金剛鈴之助・松本長）
明治四十年（一九〇七）国産プレス開始

高橋進 一九〇二～八四 一九一五年に宝生九郎の弟子
宝生九郎 一八三七（天保八）～一九一七（大正六）
野口兼資（政吉） 一八七九～一九五三
鼓：三須錦吾（一九一〇年に七九歳で没）

観世華雪 一八八四～一九五九
初世梅若万三郎 一八六八～一九四六
二世梅若実 一八七八～一九五九
桜間弓川 一八八九～一八五七

1 2 3 4 5 6 7 8 9
さーアり…とてわ…わたしもりふーウ
ねーー。こ…ぞりて…せばくとも。